

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 282 『句駁省便』 こうはく せいべん

< 意味 > 財政の管理をしっかりと、出納をきちんとすること。

< 出典 > 『資治通鑑』<sup>しじつがんとうき</sup>唐紀

語 釈：「句」は調べ考えること。金銭の出入りや多少を調べ上げる意。「駁」は論じて誤りを正す意。また、はぎとる意。書類を調べ上げてその不正を論じあばくこと。「省」は浪費を省く意。「便」は物の流通を便利にして利益を得る意。「駁」は「剥」とも書く。

一 言：自民党派閥の政治資金パーティーをめぐる事件で何人かの政治家が立件されました。政治資金パーティー収入の一部を裏金化したとされていますが、「財政の管理をしっかりと、出納をきちんとすること」をしていればそのような不正は起きません。何らかの意図をもって処理されたということでしょう。

参照文献：岩波書店「四字熟語辞典」